

宮沢賢治石碑

1959年に建てられたこの石碑は、中尊寺とのかかわりが深い岩手県出身の作家、詩人の宮沢賢治（1896-1933年）を記念するものです。

詩や童話を含め宮沢賢治の作品は、近代日本文学の傑作とされています。宮沢は仏教、特に法華経と深い関わりがあり、法華経は彼の人生に大きな影響を及ぼしました。石碑には、宮沢が執筆した中尊寺の詩が刻まれています。

詩の内容は、中尊寺に来た泥棒が寺の美しさに圧倒され、畏怖の念を抱き、盗みの意思を完全に失ったというものです。